

**日本語教育プロジェクト  
(留学生アンケート調査結果ご報告)  
2022年10月～**

**日本語学習に対する意識と、学習方法についての調査**

## 「日本語学習に対する意識と、学習方法についての調査」

- 調査目的：日本語学習サービス開発検討のため
  - ・ 学習者の学習目的や学習強度と、学習にかかる費用や時間との関連
  - ・ 学習者の学習方法を  
を確認すること。
  
- 調査手法：Google Formを使ったアンケート
  - 対象：JDS生（16か国 702名）
  - アンケート配布期間：2022年1月4日～2022年1月6日
  - アンケート回答期間：2022年1月4日～2022年1月14日
  - 回答数：291名
  - 回答率：約41.5%
  
- 調査内容
  - ・ 日本語学習に対する意識
  - ・ 日本語の学習方法
  - ・ 日本語学習や日本での生活で困難に感じる点 など
  
- 協力：一般財団法人 日本国際協力センター（JICE）様

## これまでJICEが支援を行った留学生事業

### 1. トータルパッケージ型支援（来日前、滞日中、帰国後通しての総合的支援）

#### 人材育成奨学計画（通称：JDS）（1999年-）

対象国：アジア各国

若手行政官を対象に各国特有の課題解決のための手法を日本の大学院（修士・博士課程）で学ぶための奨学金プログラム。無償資金協力援助として対象国と業務実施代理契約を締結し、対象各国政府の代理機関として事業全体の運営を実施しています。

卒業後帰国した留学生は、それぞれの所属機関に復職して目覚ましい昇進をしています。また、日本に関係する部署へ配属されるなどして、留学の成果を十分に発揮しています。



#### <補足>

・人材育成奨学計画（JDS）：対象国において将来指導者層になることが期待される優秀な若手行政官等を日本の大学院に留学生として受け入れ、帰国後は、社会・経済開発計画の立案・実施において、留学中に得た専門知識を有する人材として活躍すること、またひいては日本の良き理解者として両国友好関係の基盤の拡大と強化に貢献することを目的。（JICA HPより）

- ・約2年間日本の大学院で勉強。授業は英語で行われる。
- ・来日後、JICEの来日プログラムを受講。日常生活で日本語が必要なので、30時間程度日本語の授業を受講。

JICEホームページより  
<https://www.jice.org/activities/student.html>



回答者の基本情報

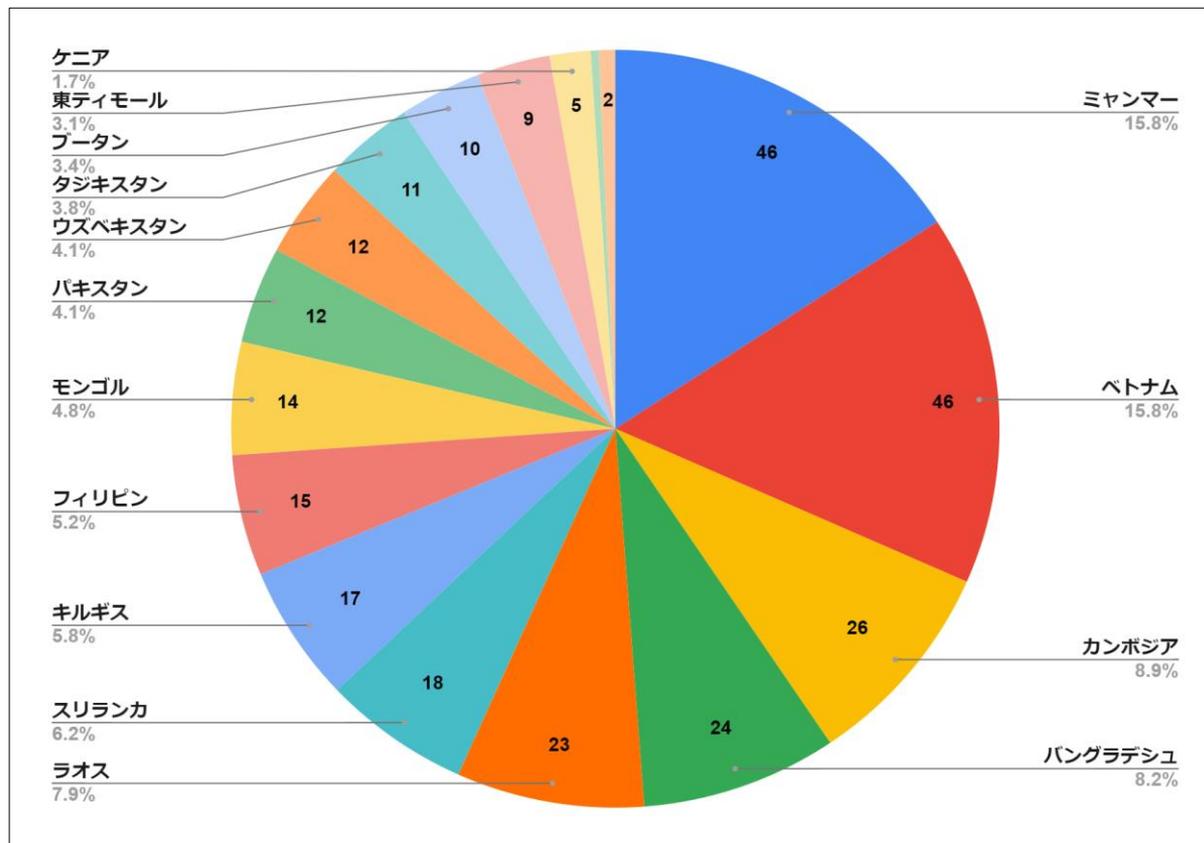
日本語学習への意識

日本語の学習方法

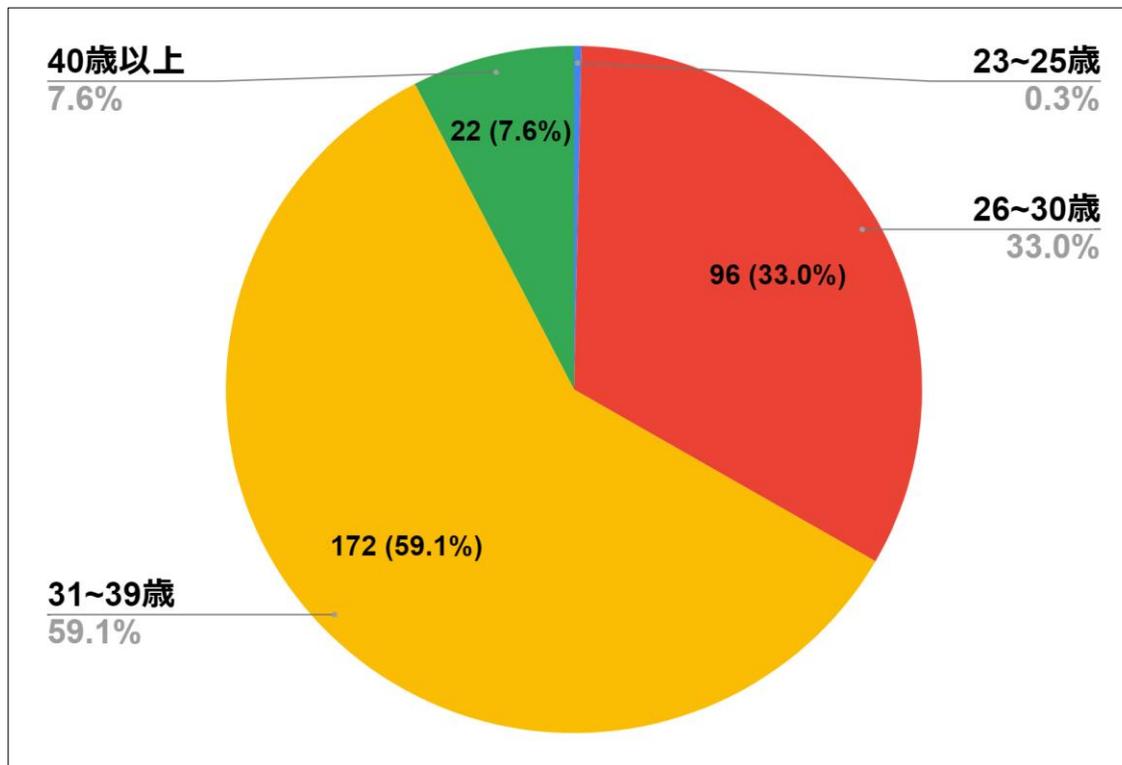
日本語学習や日本での生活で困難なこと

今後の目標など

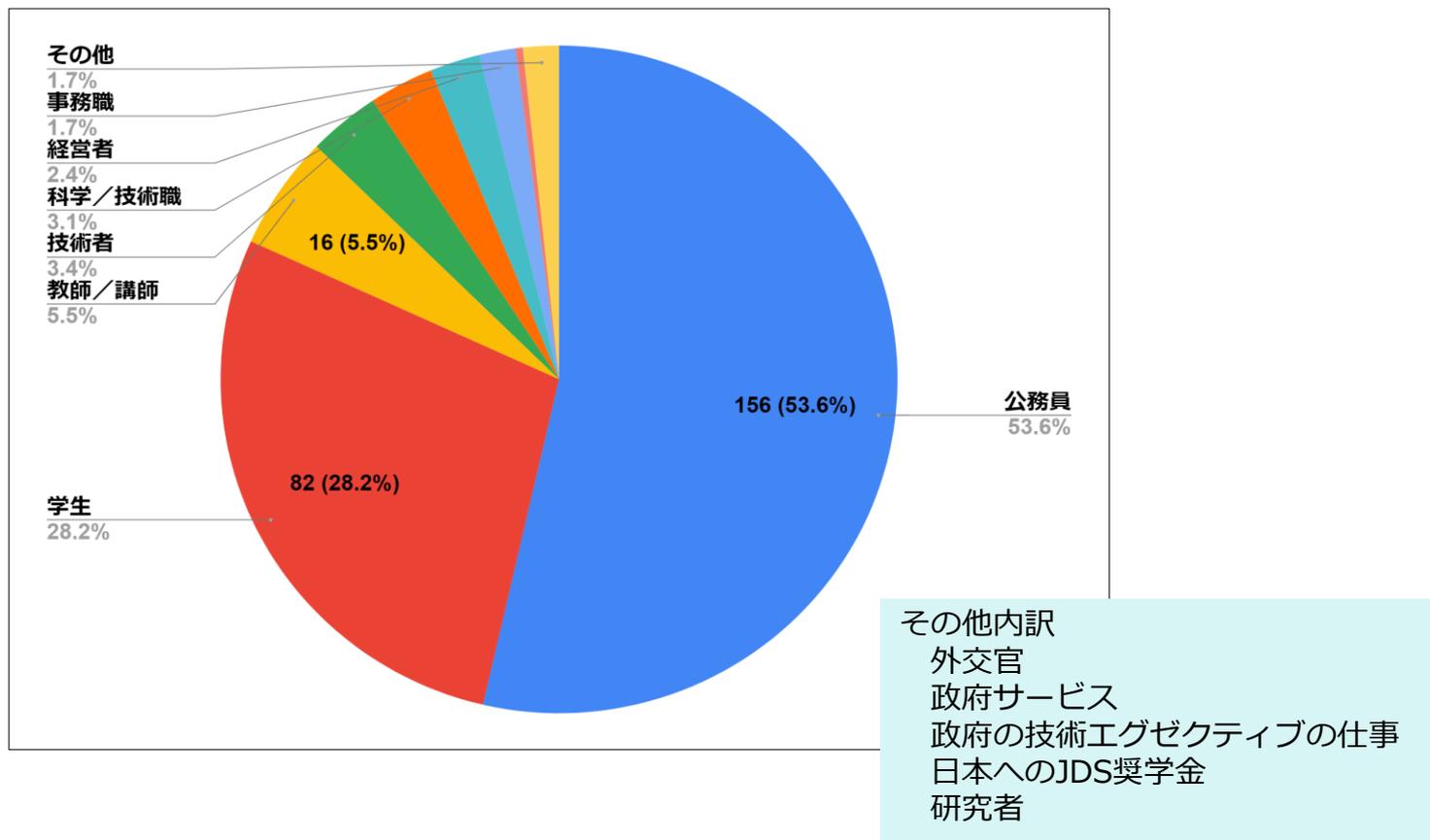
回答者の国籍はミャンマーとベトナムが46人ずつで最も多く、アジアを中心に計16か国の方から回答があった。



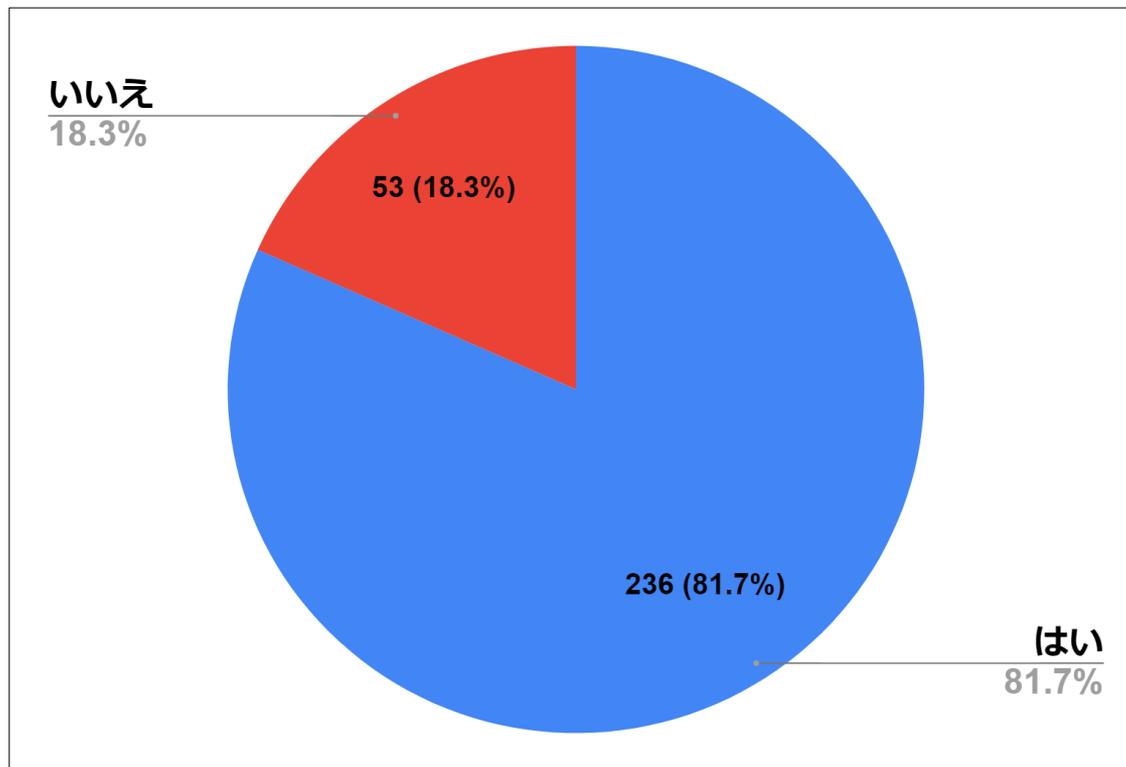
年齢構成は31歳～39歳が59.1%と最も多く、続いて26～30歳が多い。  
26～39歳で92%を占める。25歳以下はわずか0.3%。

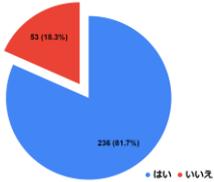


職業は公務員が半数以上を占める。



81.7%が日本語の習得は、帰国後のキャリア形成にも役立つと回答。



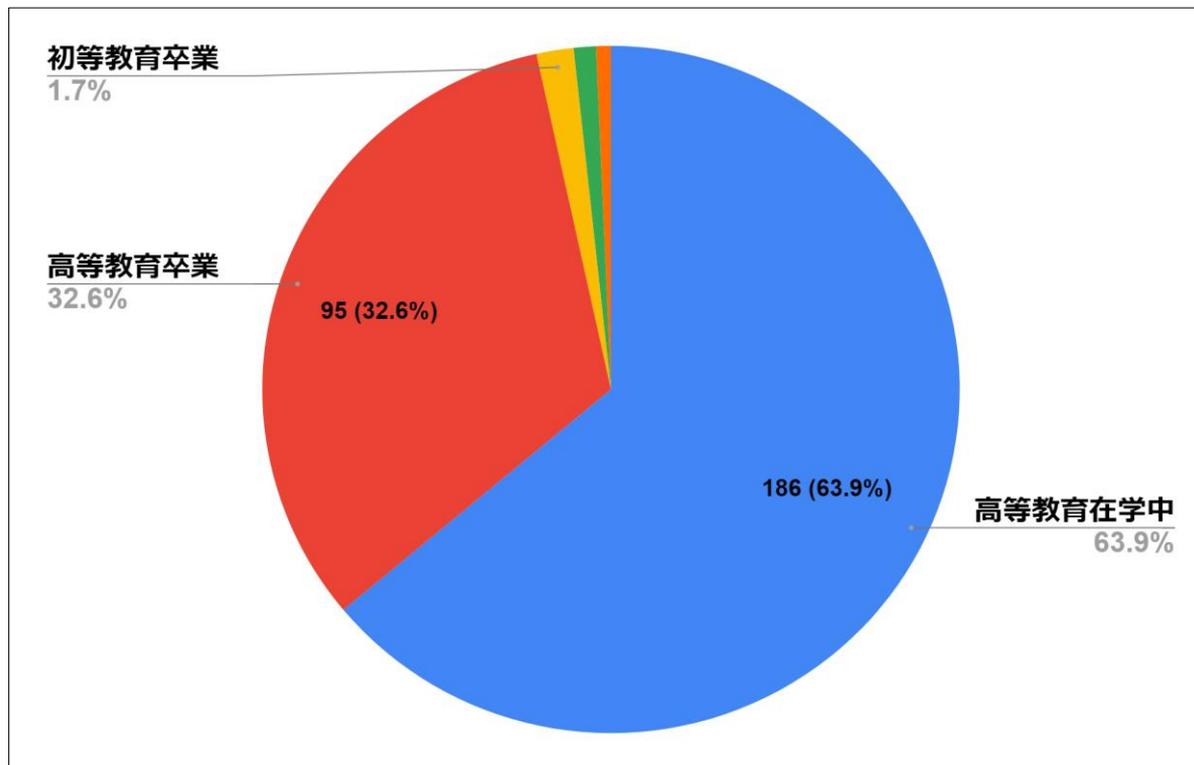


日本語の習得は、帰国後のキャリア形成にも役立つと思いますか。  
の問いに「はい」と回答した方のうち、224名に自由記述式で回答を頂いた。

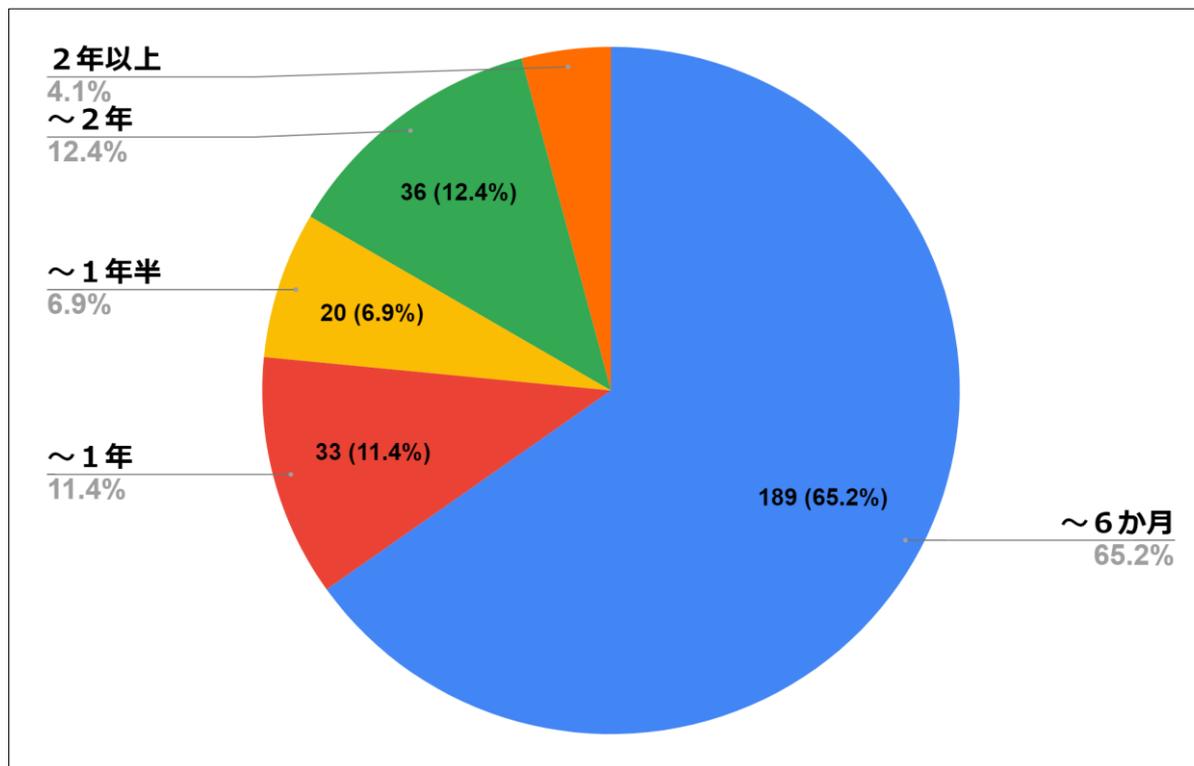
### <回答抜粋>

- 仕事や研究、日常生活でのコミュニケーションにおいて (119名)
  - ・日本人とコミュニケーションを取り、人脈を拡大する。
  - ・日本との共同プロジェクトで、日本の政府高官とやり取りする。
  - ・研究ににおいて日本人教授とより良いコミュニケーションを行う。
  - ・日本で働く上での、日常生活での必要性。
- 専門分野の情報収集・知識習得において (44名)
  - ・日本の政策立案／法律／教育／農業／科学技術 などの専門分野の文献を読んだり、情報収集をすることができる。
  - ・日本の文化についてより理解することができる。
- キャリアの可能性を広げることにおいて (35名)
  - ・使用可能な言語が増えることがアドバンテージ。
  - ・日本関連の部門で働くという選択肢が増える。
  - ・日本駐在、日本で就職が可能になる。
  - ・日本関連のプロジェクトに参加することができる。
- 外交・取引拡大において (18名)
  - ・国際協力
  - ・日本とのパートナーシップ関係構築
- その他 (8名)
  - ・全ての場面で
  - ・日本で生活する上で

高等教育在学中が最も多く63.9%、続いて高等教育卒業32.6%  
高等教育在学中と卒業者で96.5%を占める。



来日1年以内が76.6%



回答者の基本情報



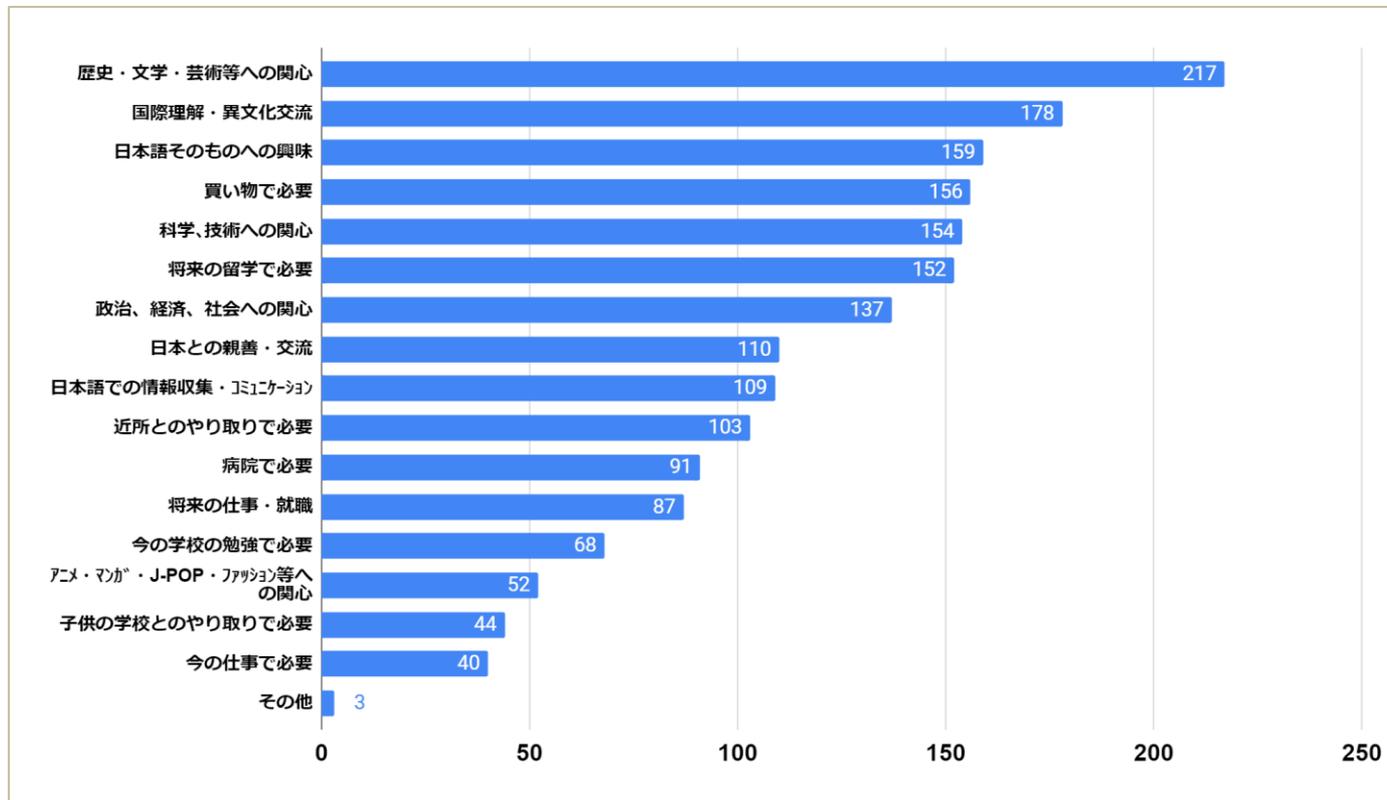
日本語学習への意識

日本語の学習方法

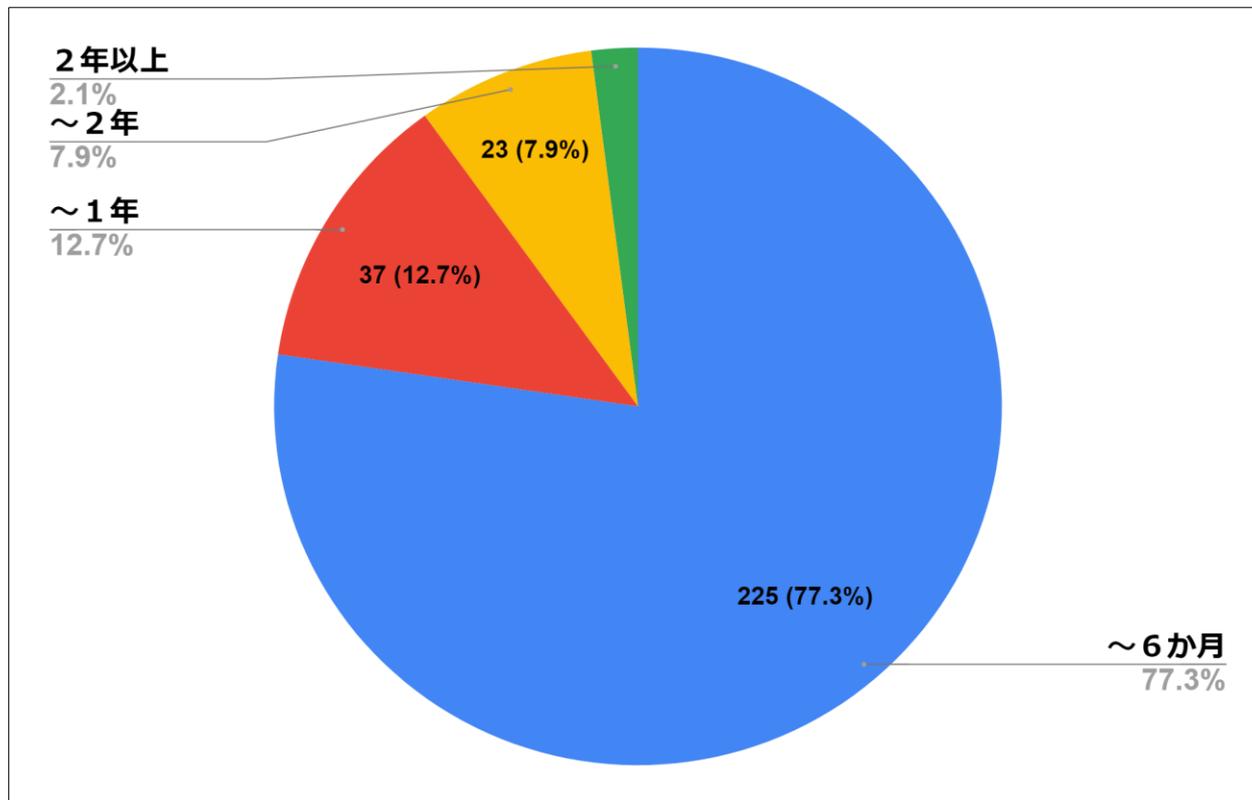
日本語学習や日本での生活で困難なこと

今後の目標など

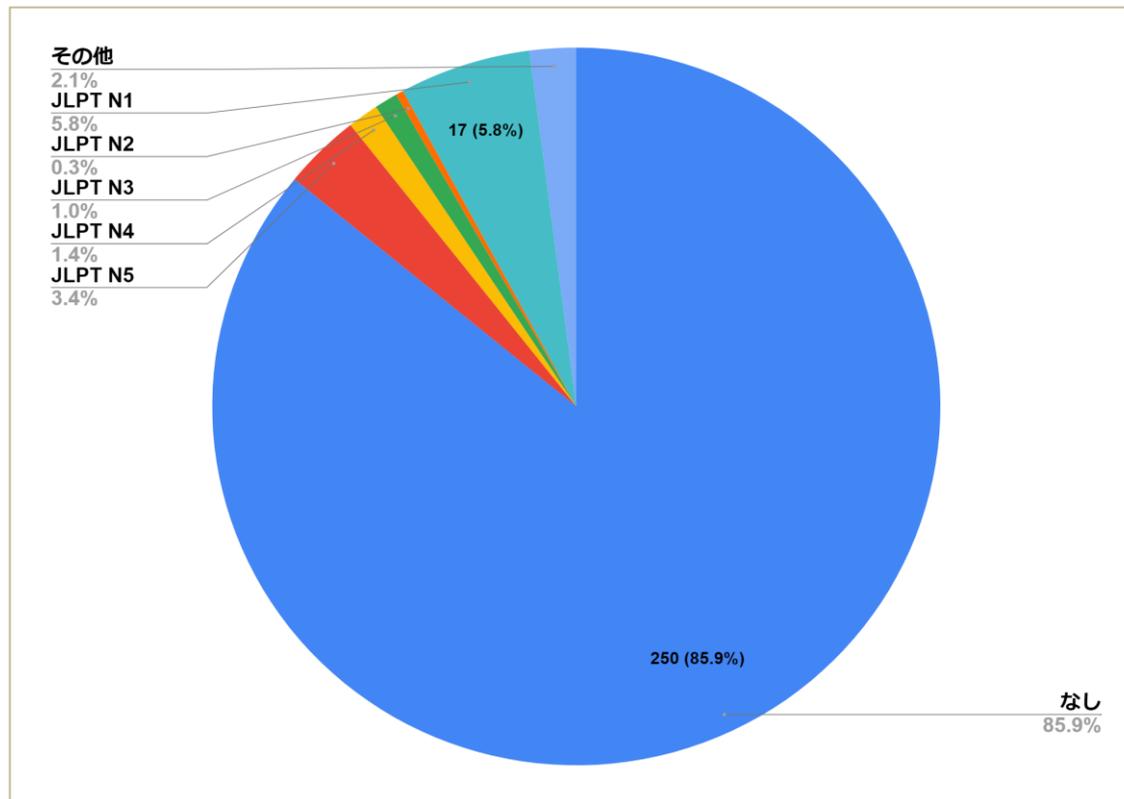
「日本の文化への関心」が最も高い。  
「科学、技術への関心」や「政治、経済、社会への関心」なども比較的高い傾向にある。



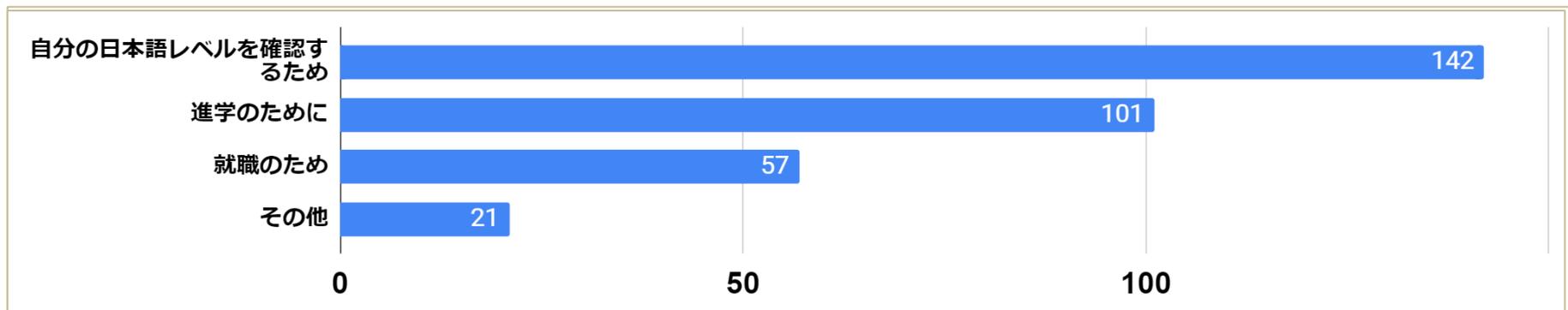
6か月以内が77.3%、1年以内で90%と学習期間は短い。



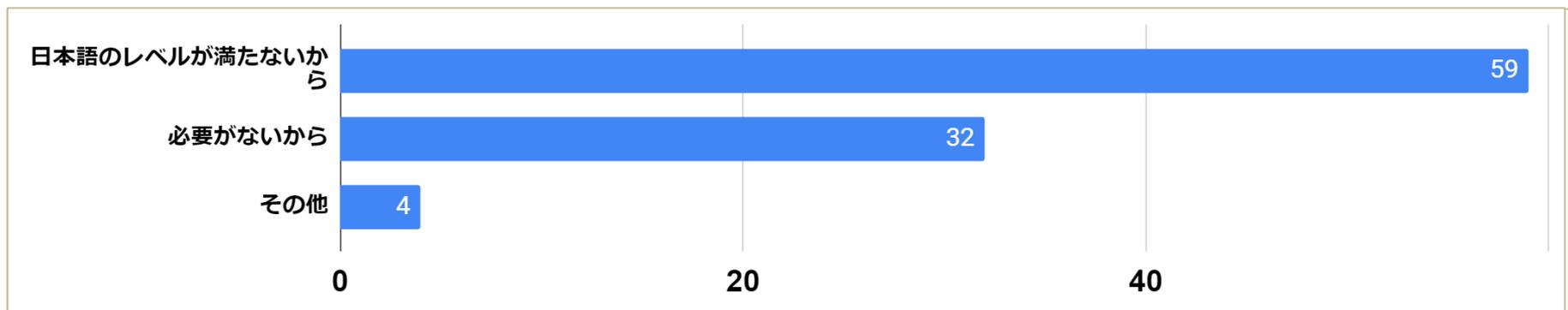
85.9%が日本語の資格は取得していない。「N1」取得者が5.8%と次いでいる。



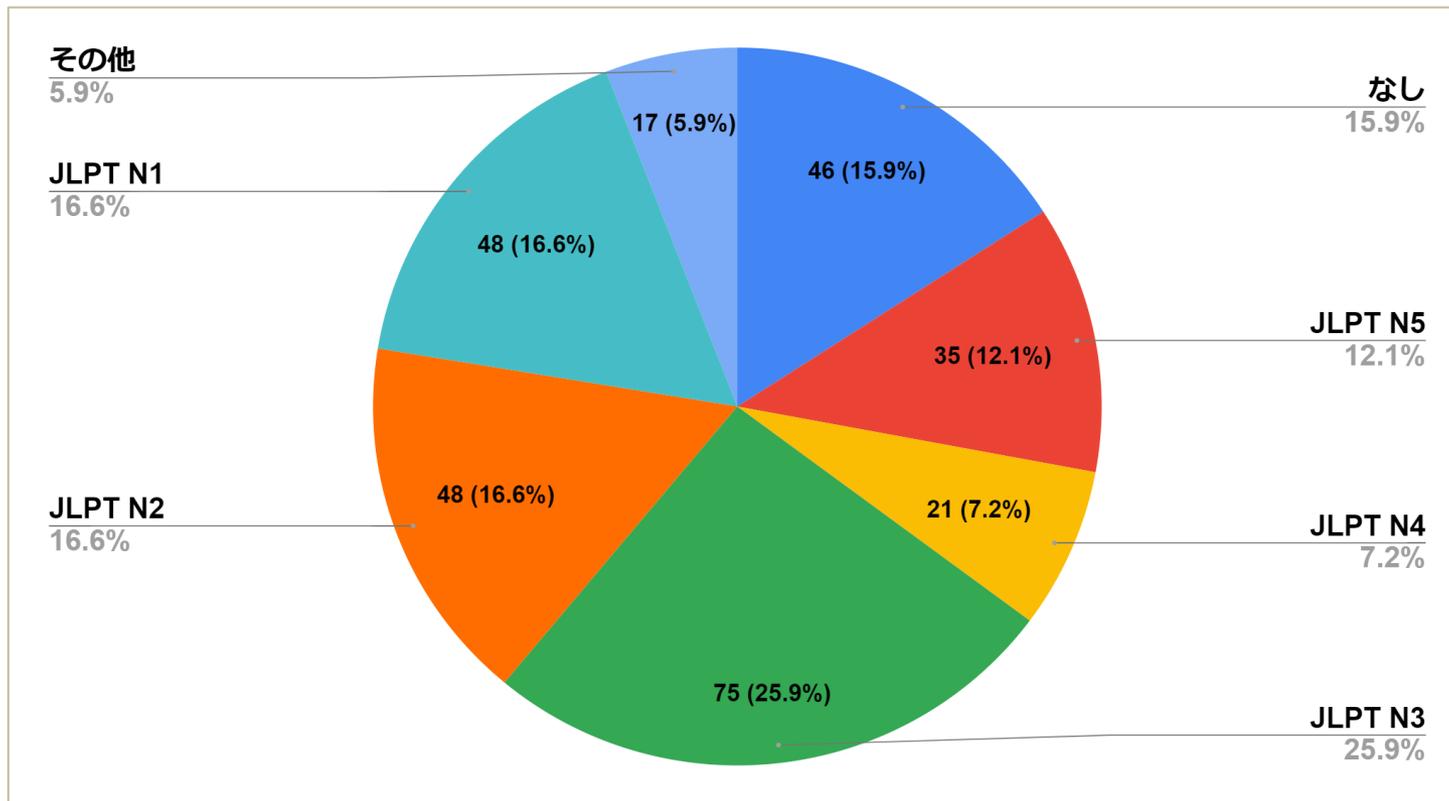
## 取得した理由(n=73)



## 取得していない理由(n=244)



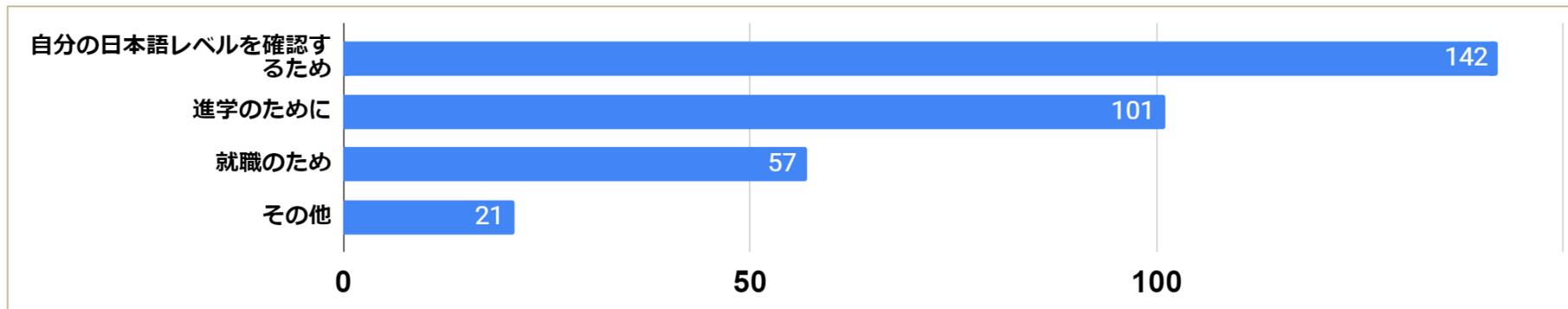
N1～N3までが59.1%、取得予定なし15.9%



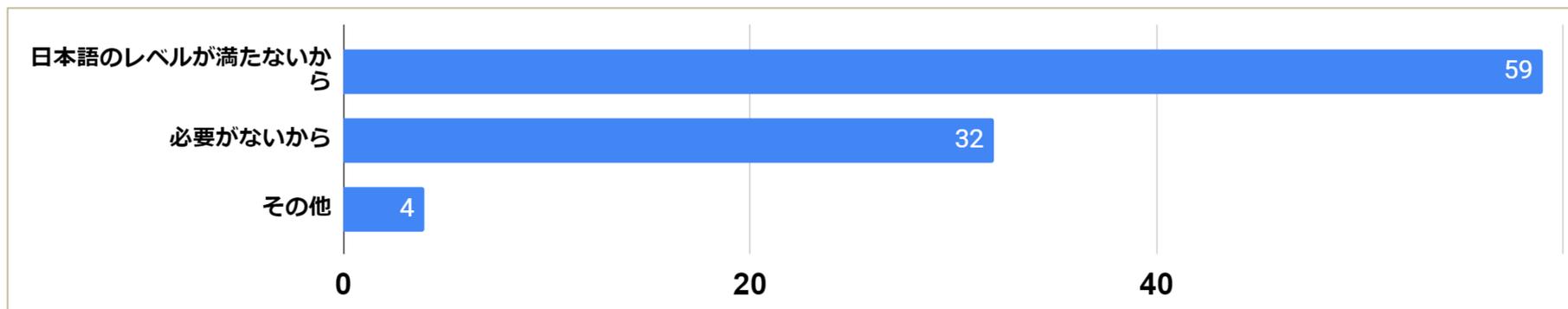
from now acquisition (これから取得)

Boost Your Curiosity

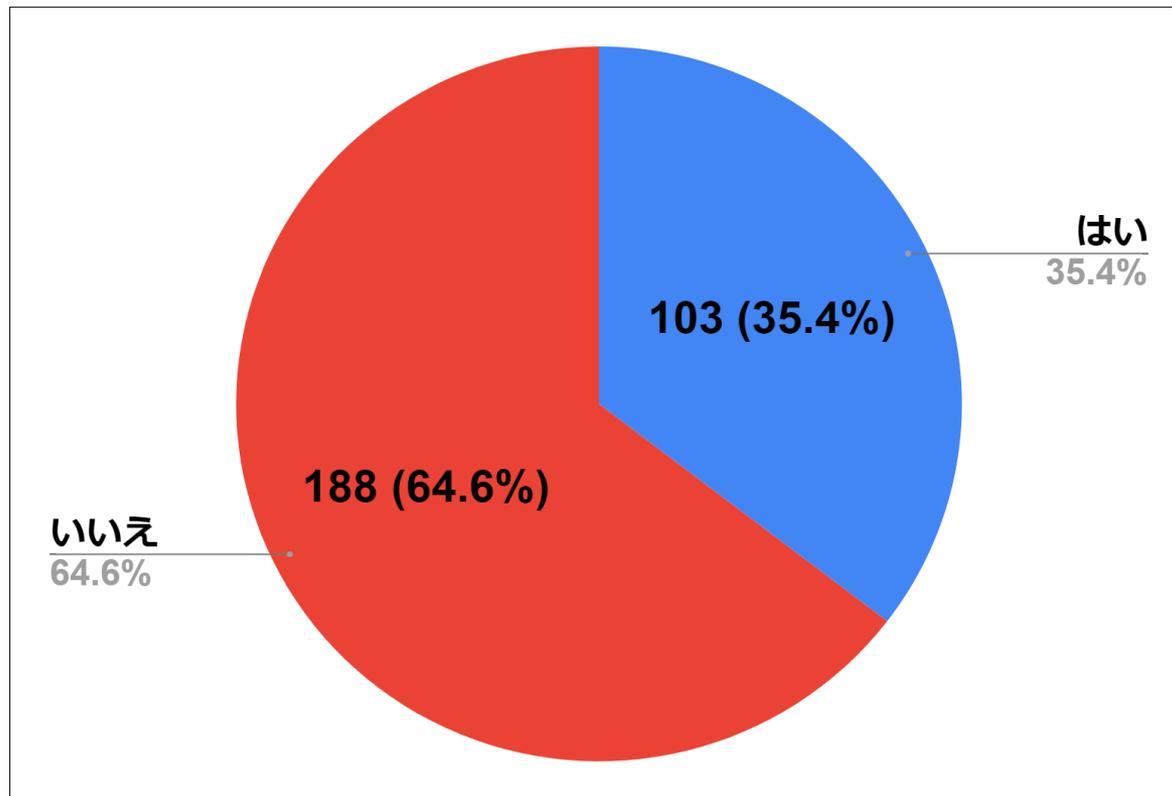
## 取得したい理由(n=234)



## 取得を考えない理由(n=96)



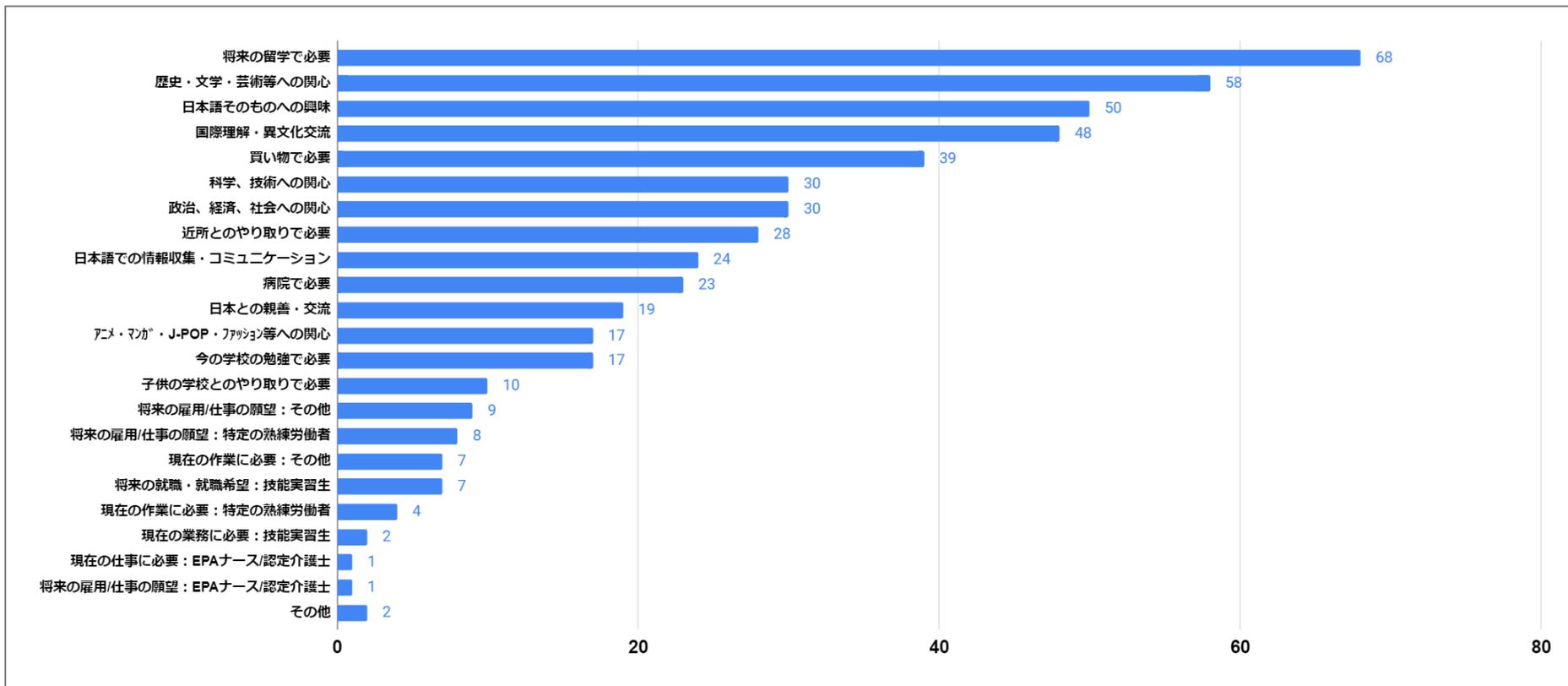
来日前に日本語を学習した人は35.4%で学習していない人の方が多い。



Before coming to Japan (来日前)

Boost Your Curiosity

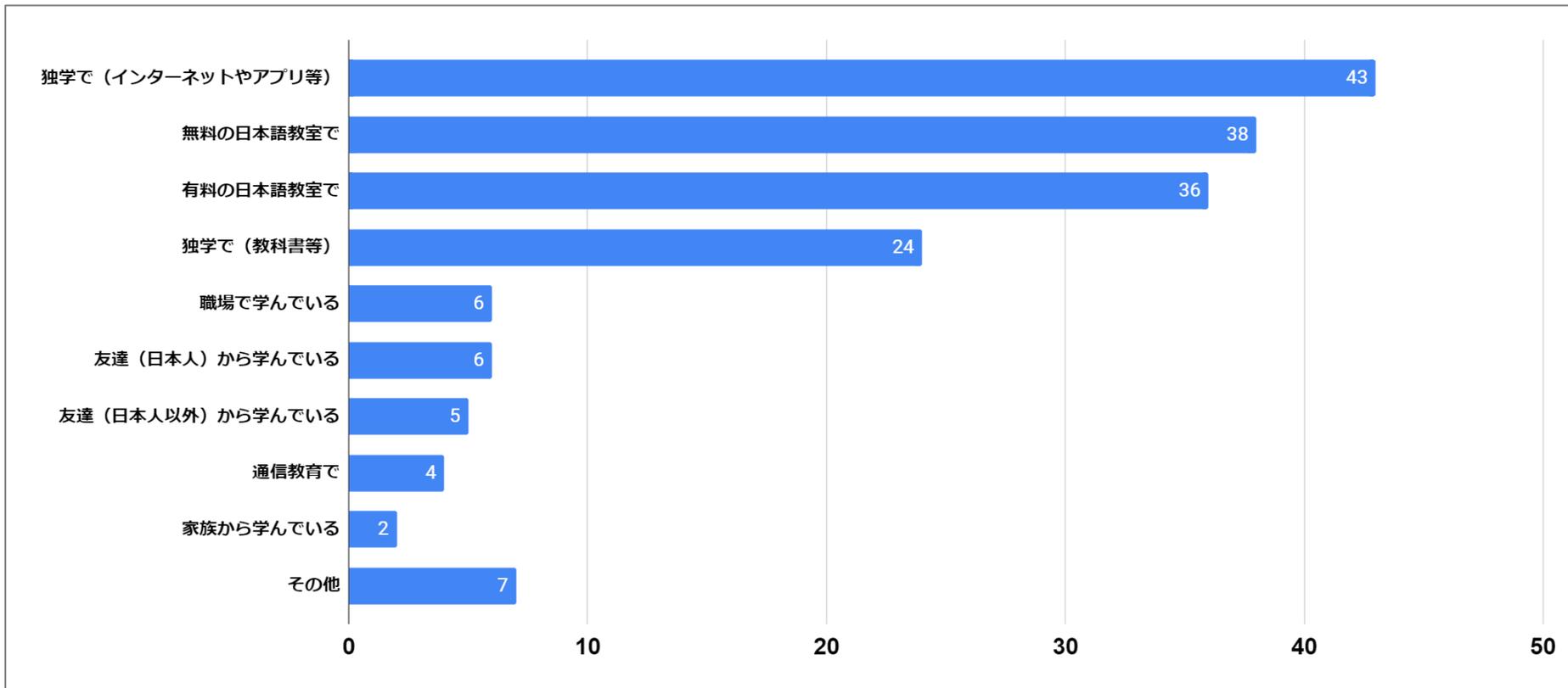
来日前に日本語を学習した人の学習目的は「将来の留学で必要」「歴史・文化・芸術への関心」「日本語そのものへの興味」「国際理解・異文化交流」等が上位をしめる。



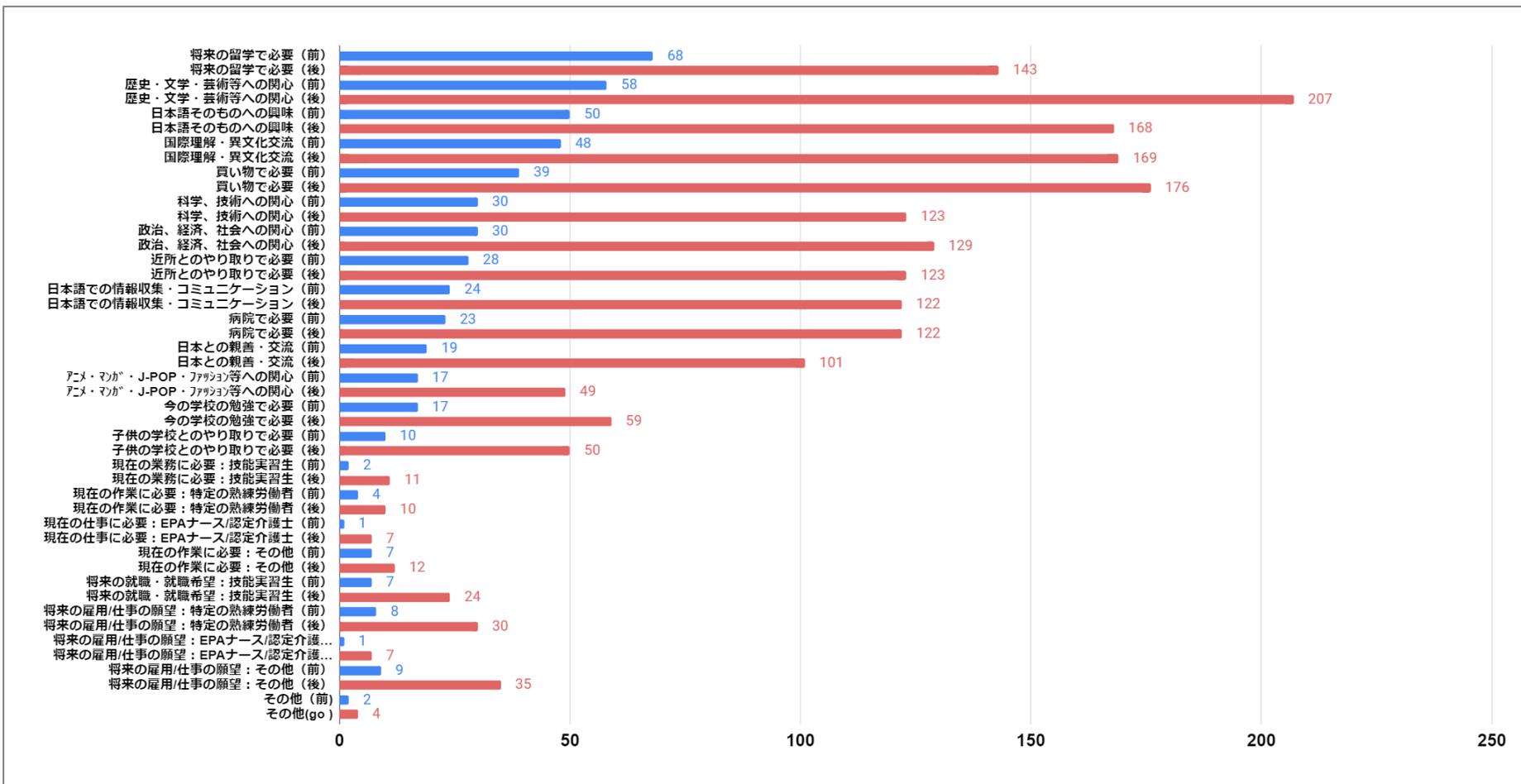
learning objectives (学習目的)

Boost Your Curiosity

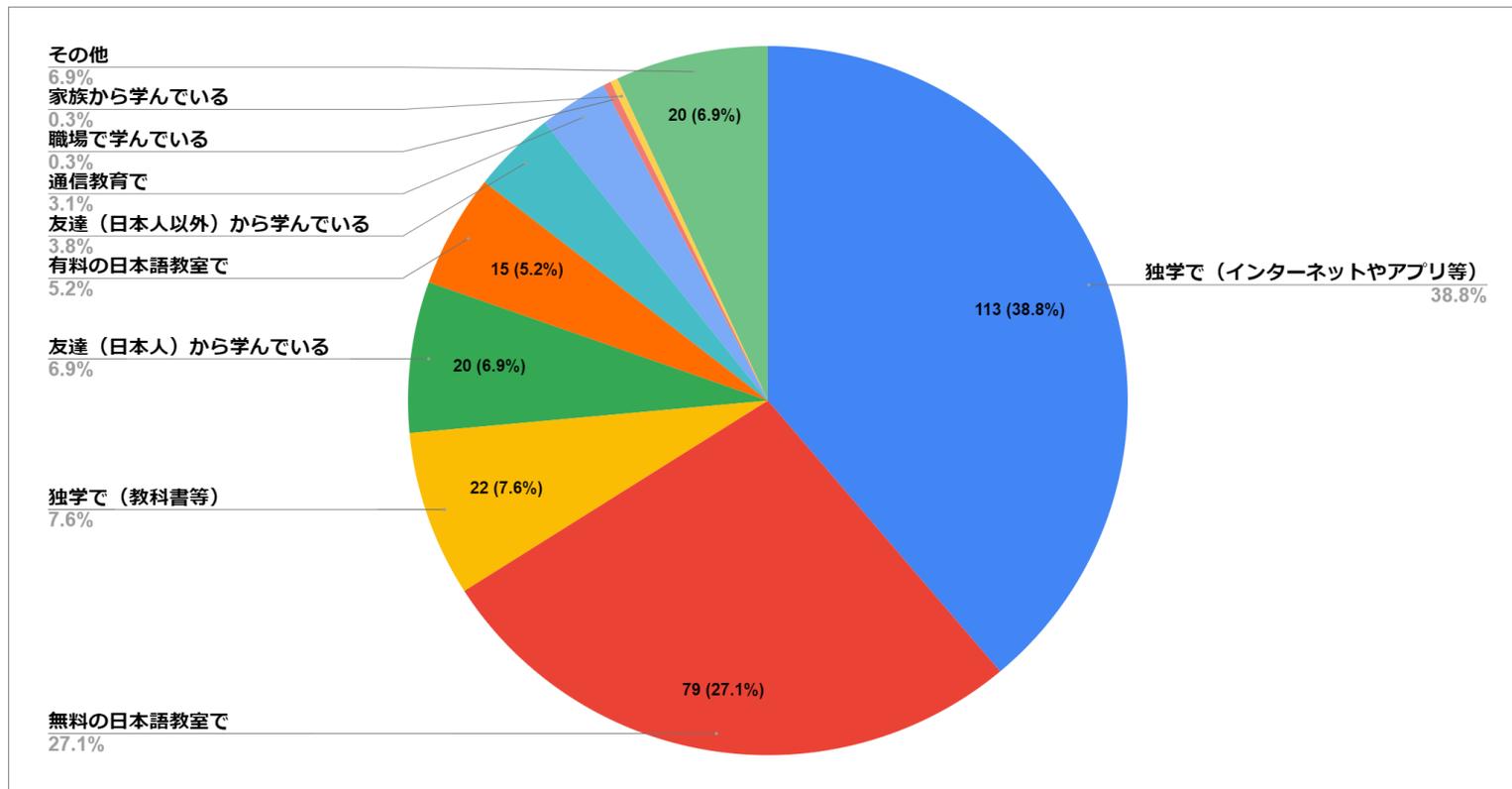
来日前に日本語を学習した人は、インターネットやアプリ等での独学、無料の日本語教室が上位となっており、有料の日本語教室は3位となっている。



全体的に順位の傾向は、来日前と来日後で大きく変わらないが、来日前と比較し来日後は選択する人が大幅に増加しており、来日後に日本語学習への必要性を強く感じている傾向がみられる。



インターネットやアプリを利用し、独学で学ぶが最も多く、次いで無料の日本語教室、教科書で独学などが上位を占め、学習にお金をかけて学ぶ人は少ない。



## ■ 今後取得したい資格と、来日後の日本語学習費用（学校/1年間）との相関

	かけない	3万円以内	5万円以内	10万円以内	30万円以内	50万円以内	それ以上	総計
JLPT N1	42人 87.50%	6人 12.50%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	48人 100.00%
JLPT N2	42人 87.50%	4人 8.33%	2人 4.17%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	48人 100.00%
JLPT N3	67人 89.33%	7人 9.33%	1人 1.33%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	75人 100.00%
JLPT N4	20人 95.24%	1人 4.76%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	21人 100.00%
JLPT N5	33人 94.29%	2人 5.71%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	35人 100.00%
予定なし	46人 97.87%	1人 2.13%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	47人 100.00%
総計	250人 91.24%	21人 7.66%	3人 1.09%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	274人 100.00%

（「その他」回答者は除いています）

今後取得したい資格に関わらず、学校費用はかけない人が9割近い。  
 JLPT N1～N3 取得を目標にしている学習者の方が、  
 JLPT N4, N5, 取得予定なし の学習者より費用をかける傾向がやや高い。  
 ただし費用は高くても1年間に5万円まで。

## ■ 今後取得したい資格と、来日後の日本語学習費用（教材/1年間）との相関

	かけない	1,000円以内	3,000円以内	5,000円以内	10,000円以内	20,000円以内	20,000円以上	総計
JLPT N1	38人 79.17%	1人 2.08%	2人 4.17%	5人 10.42%	2人 4.17%	0人 0.00%	0人 0.00%	48人 100.00%
JLPT N2	34人 70.83%	3人 6.25%	3人 6.25%	2人 4.17%	5人 10.42%	1人 2.08%	0人 0.00%	48人 100.00%
JLPT N3	54人 72.00%	3人 4.00%	5人 6.67%	9人 12.00%	3人 4.00%	1人 1.33%	0人 0.00%	75人 100.00%
JLPT N4	17人 80.95%	0人 0.00%	0人 0.00%	1人 4.76%	3人 14.29%	0人 0.00%	0人 0.00%	21人 100.00%
JLPT N5	30人 85.71%	0人 0.00%	3人 8.57%	1人 2.86%	1人 2.86%	0人 0.00%	0人 0.00%	35人 100.00%
予定なし	45人 95.74%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	1人 2.13%	0人 0.00%	1人 2.13%	47人 100.00%
総計	218人 79.56%	7人 2.55%	13人 4.74%	18人 6.57%	15人 5.47%	2人 0.73%	1人 0.36%	274人 100.00%

今後取得したい資格に関わらず、学習教材費用はかけない人が大半。

取得したい資格がない人は特に学習に費用をかけない。

学習教材費用をかけない人の割合が比較的少なかったのが、JLPT N2, N3取得を目標にしている学習者だった。

## ■ 今後取得したい資格と、来日後の日本語学習時間（学校/1週間）との相関

	勉強しない	3時間以内	10時間以内	20時間以内	30時間以内	30時間以上	総計
JLPT N1	28人 58.33%	16人 33.33%	4人 8.33%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	48人 100.00%
JLPT N2	21人 43.75%	22人 45.83%	5人 10.42%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	48人 100.00%
JLPT N3	48人 64.00%	19人 25.33%	6人 8.00%	1人 1.33%	0人 0.00%	1人 1.33%	75人 100.00%
JLPT N4	14人 66.67%	6人 28.57%	1人 4.76%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	21人 100.00%
JLPT N5	20人 57.14%	9人 25.71%	5人 14.29%	1人 2.86%	0人 0.00%	0人 0.00%	35人 100.00%
予定なし	34人 72.34%	9人 19.15%	3人 6.38%	1人 2.13%	0人 0.00%	0人 0.00%	47人 100.00%
総計	165人 60.22%	81人 29.56%	24人 8.76%	3人 1.09%	0人 0.00%	1人 0.36%	274人 100.00%

（「その他」回答者は除いています）

今後取得したい資格のレベルと、来日後の日本語学習時間（学校）とでは、相関は特に見られなかった。

いずれのレベルでも、「勉強しない」と「1週間に3時間以内」で約9割になる。

## ■ 今後取得したい資格と、来日後の日本語学習時間（自習/1週間）との相関

	勉強しない	3時間以内	10時間以内	20時間以内	30時間以内	30時間以上	総計
JLPT N1	14人 29.17%	29人 60.42%	5人 10.42%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	48人 100.00%
JLPT N2	9人 18.75%	29人 60.42%	8人 16.67%	2人 4.17%	0人 0.00%	0人 0.00%	48人 100.00%
JLPT N3	15人 20.00%	50人 66.67%	8人 10.67%	1人 1.33%	0人 0.00%	1人 1.33%	75人 100.00%
JLPT N4	9人 42.86%	10人 47.62%	2人 9.52%	0人 0.00%	0人 0.00%	0人 0.00%	21人 100.00%
JLPT N5	7人 20.00%	24人 68.57%	3人 8.57%	0人 0.00%	0人 0.00%	1人 2.86%	35人 100.00%
予定なし	17人 36.17%	28人 59.57%	1人 2.13%	1人 2.13%	0人 0.00%	0人 0.00%	47人 100.00%
総計	71人 25.91%	170人 62.04%	27人 9.85%	4人 1.46%	0人 0.00%	2人 0.73%	274人 100.00%

（「その他」回答者は除いています）

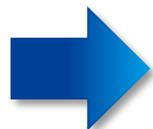
今後取得したい資格のレベルと、来日後の日本語学習時間（時間）には相関はあまり見られず、

レベルに関わらず1週間に3時間以内が最も多い。

1週間に3時間以上と回答した割合が比較的多かったのが、JLPT N2取得を目標にしている学習者だった。

回答者の基本情報

日本語学習への意識

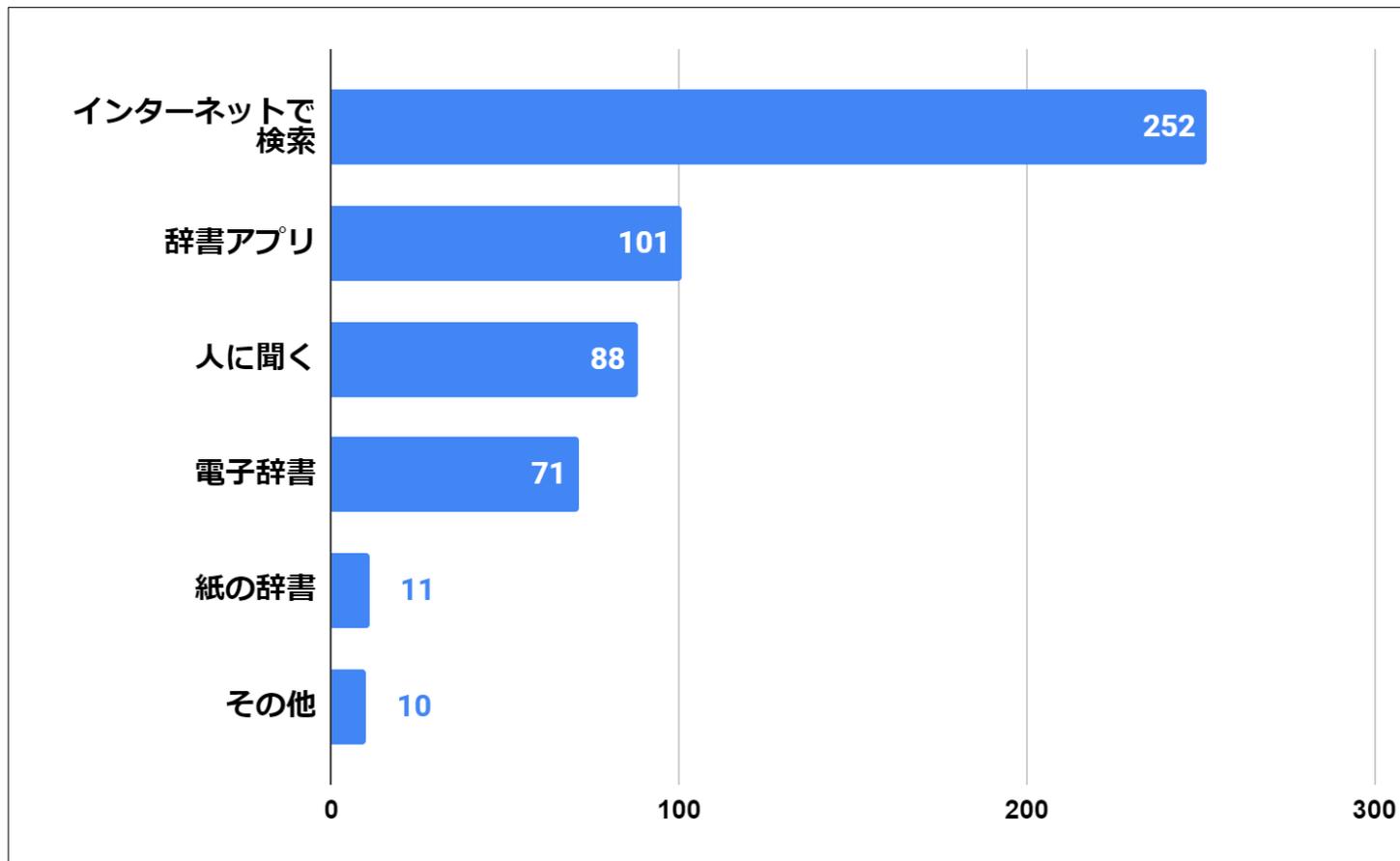


日本語の学習方法

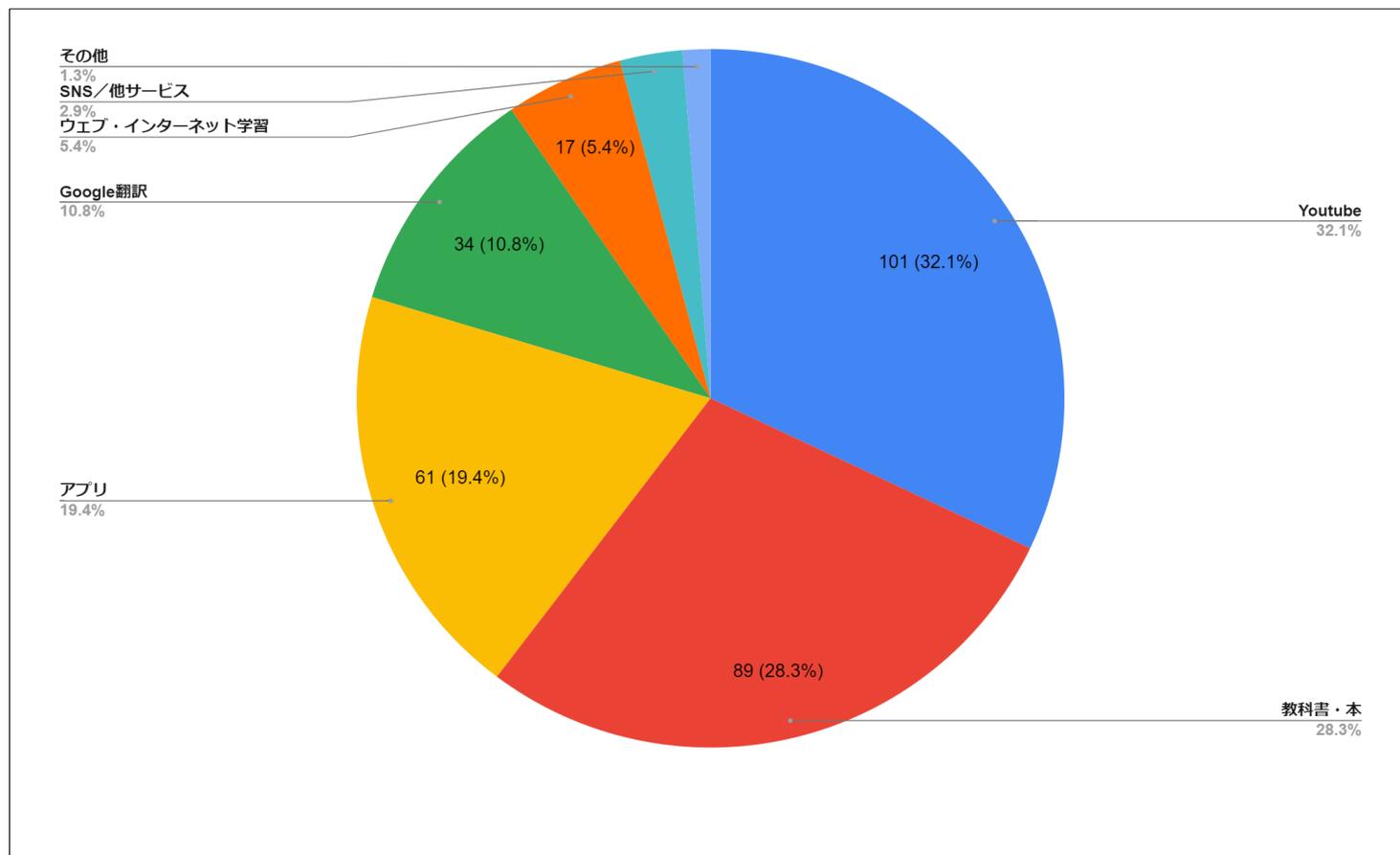
日本語学習や日本での生活で困難なこと

今後の目標など

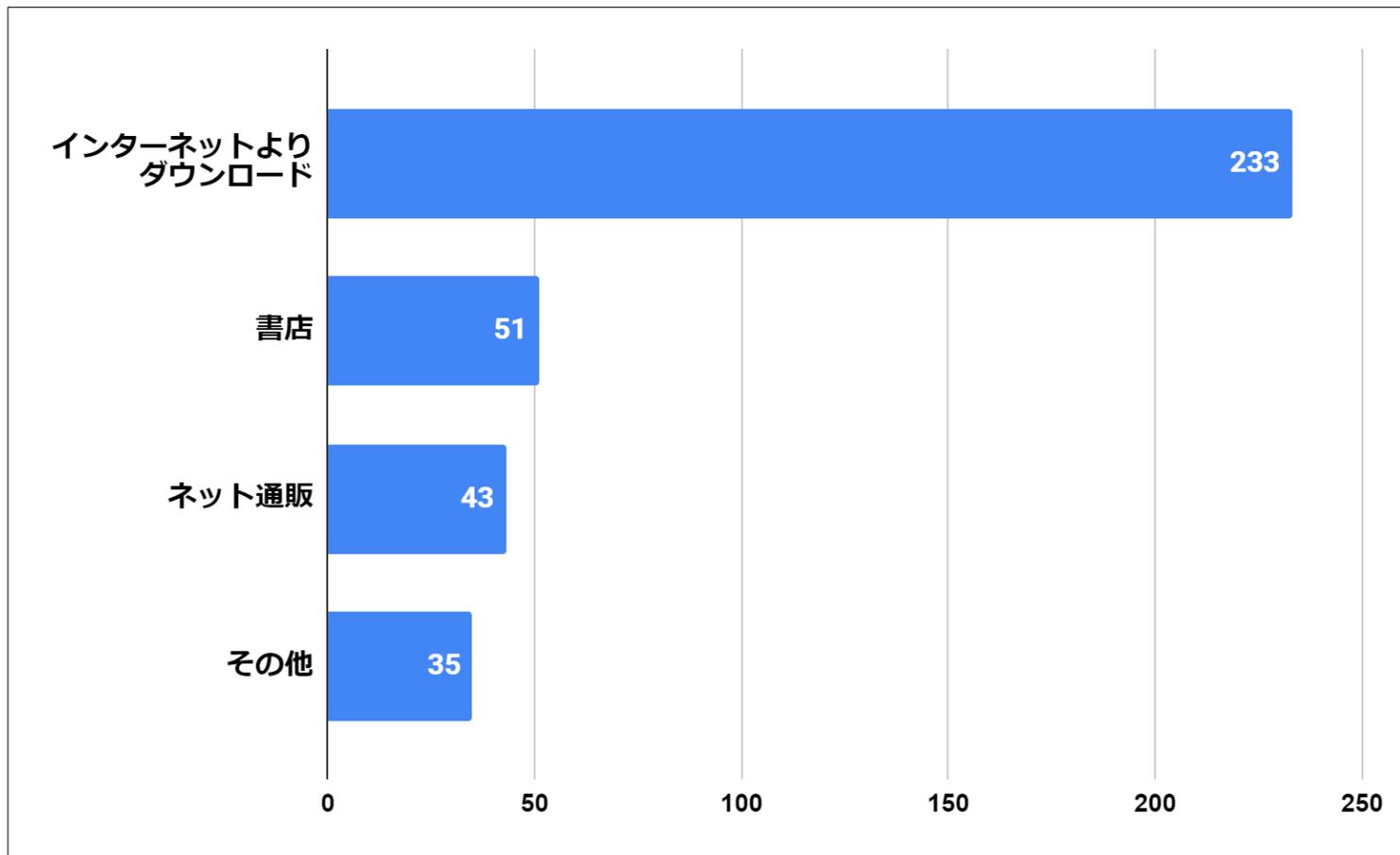
インターネットでの検索が最も多く、出版された辞書（電子辞書収録含む）で調べる人は少数である。



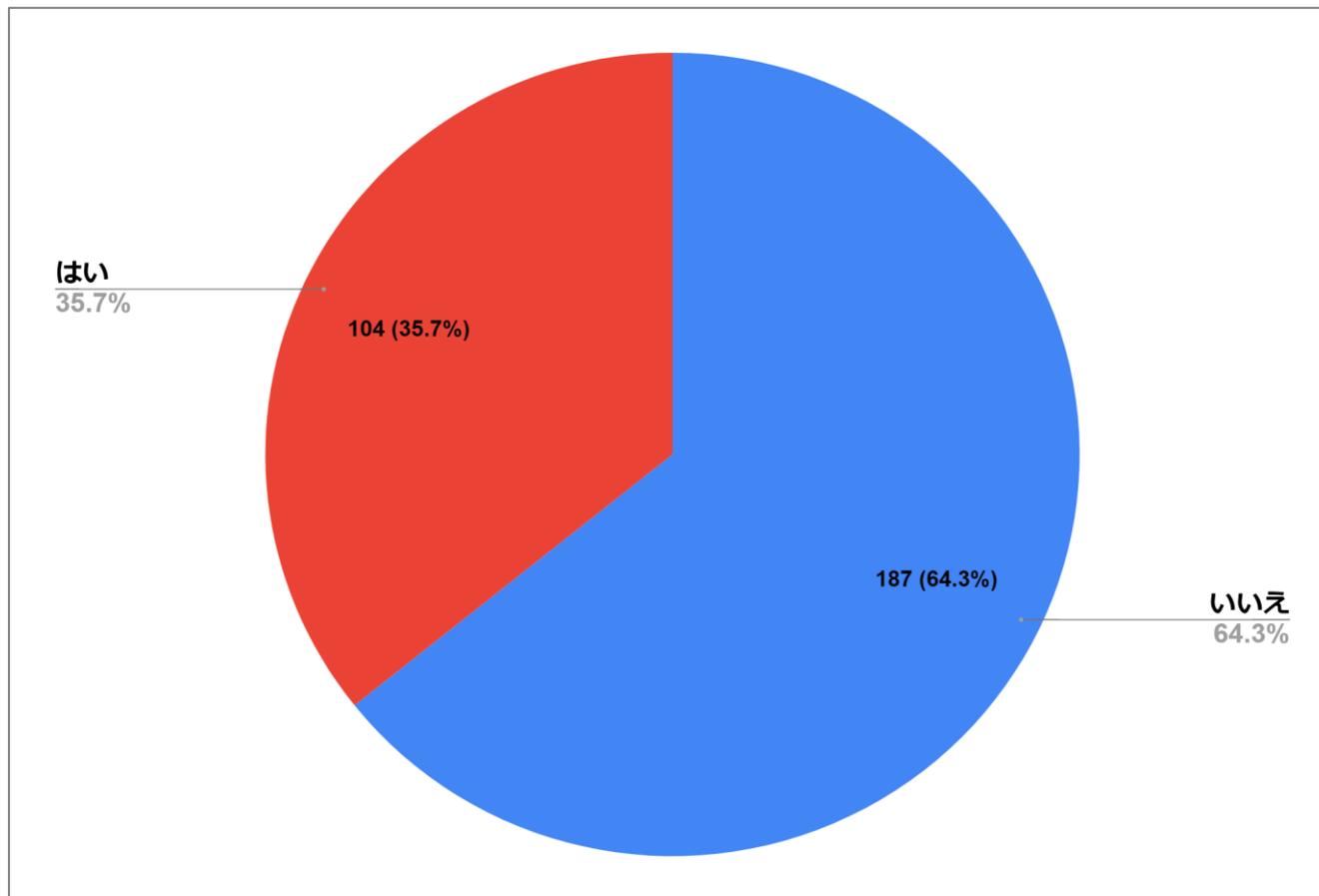
YouTubeの活用が最も多い。教科書・本の活用は28.3%で、それ以外の約7割はPCやスマホなどの端末を使用する学習スタイルである。



インターネットから入手したり、他者から提供されたものなど、無料で得られるものの使用が主。書籍などを購入する場合の流通は、店頭とネットに大差は見られなかった。



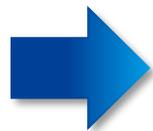
アプリを使用していると回答した人は35.7%、使用していない人は64.3%と使用していない人の方が多い。



回答者の基本情報

日本語学習への意識

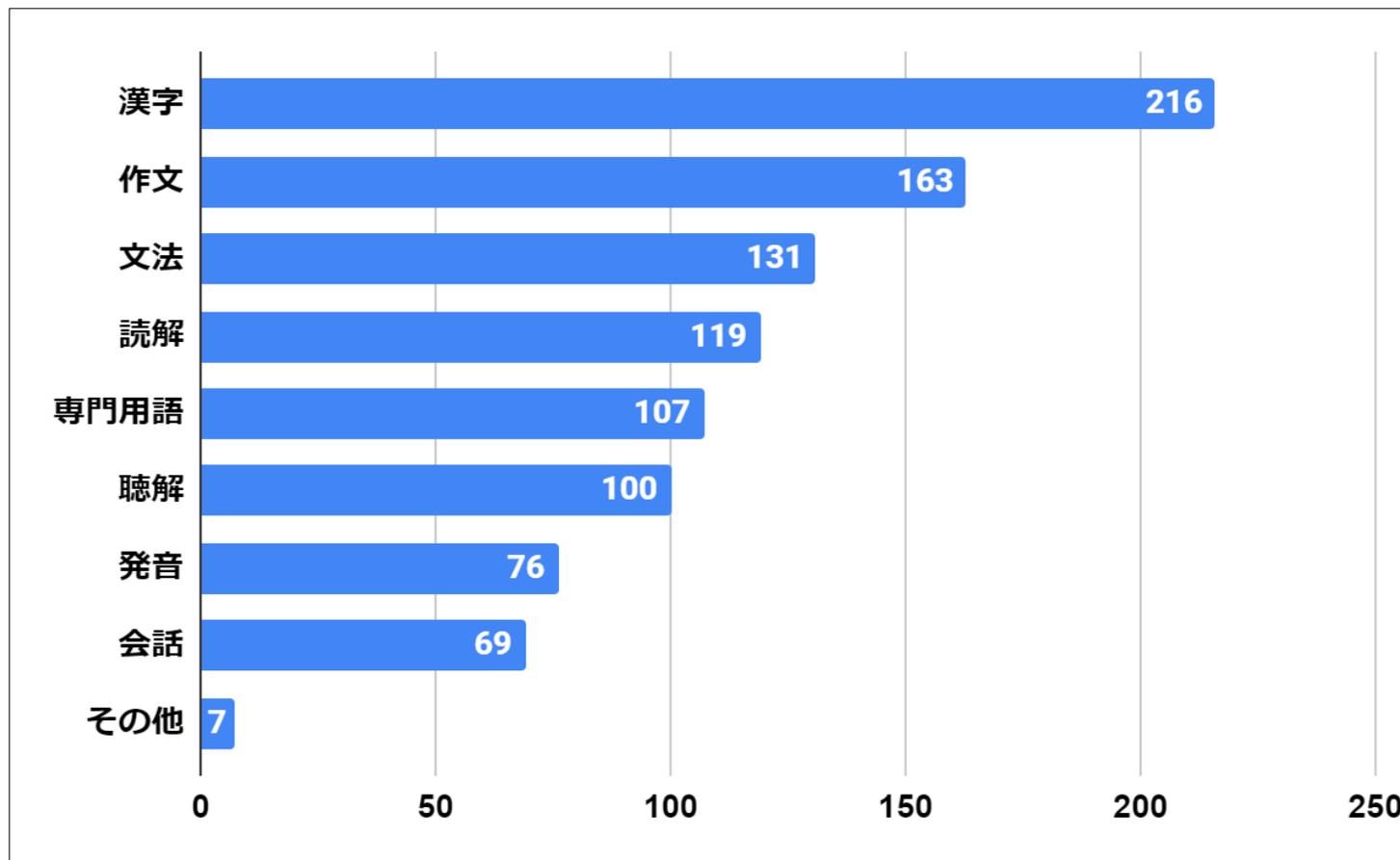
日本語の学習方法



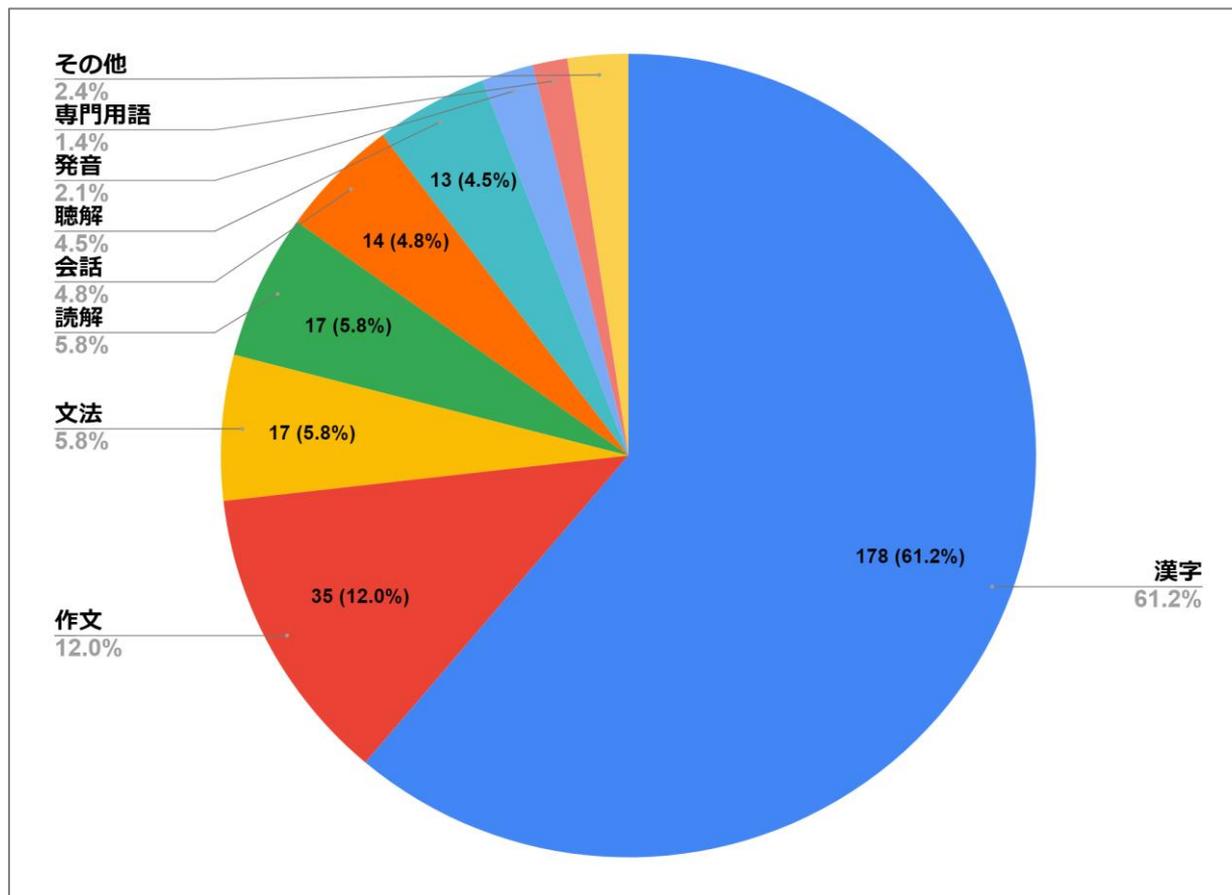
日本語学習や日本での生活で困難なこと

今後の目標など

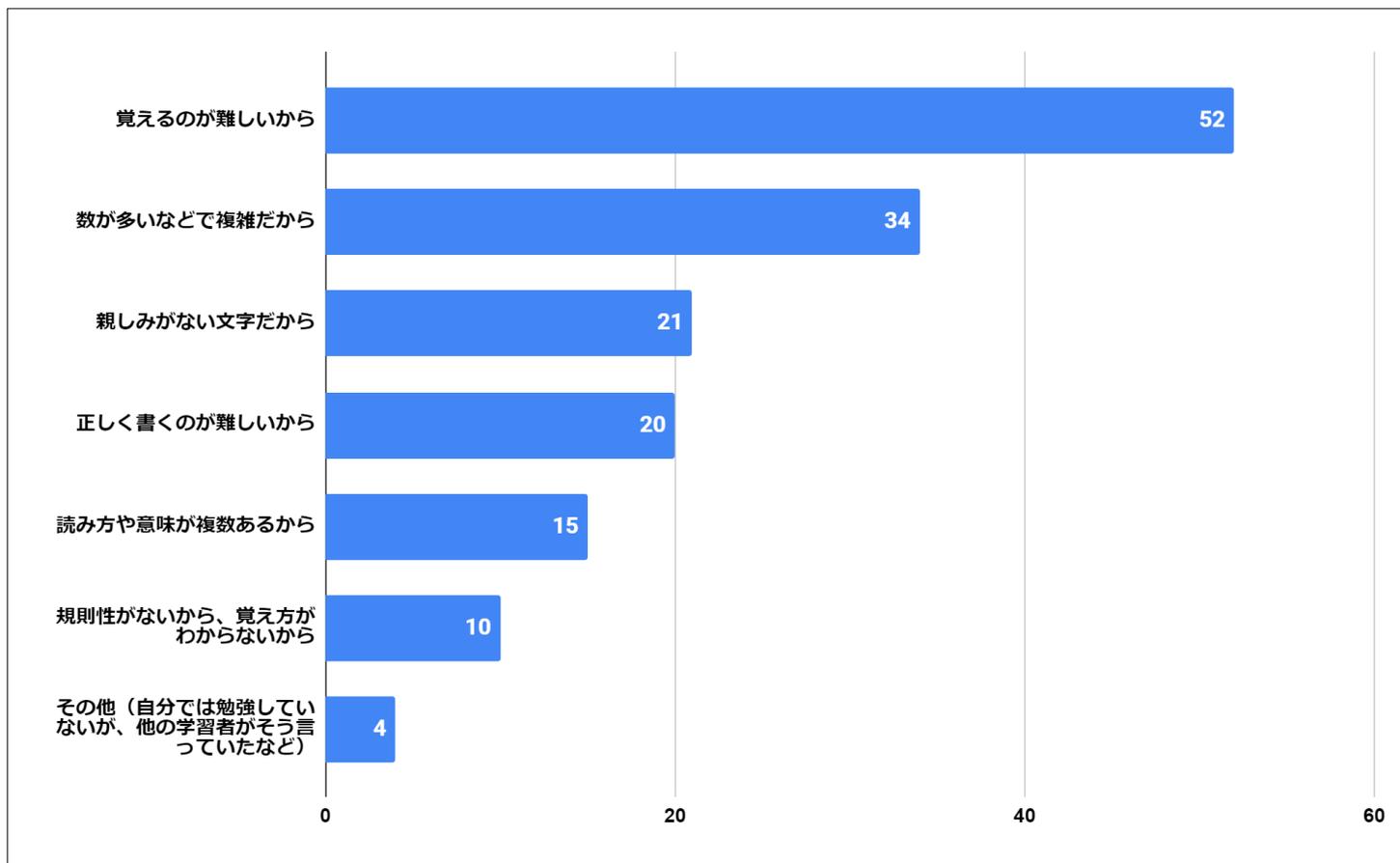
「漢字」学習が難しいと感じている人が一番多かった。次いで「作文」「文法」「読解」の順となっている。「発音」「会話」は比較的少なかった。



「漢字」学習が最も難しいと感じている。次いで「作文」「文法」「読解」の順となっている。「聴解」「発音」は比較的少なかった。



数が多く覚えるのが大変、というイメージが多い。



## ■ 文法

## &lt;内容抜粋&gt;

- ・適切な学習方法がわからないから。
- ・母国語や英語とは大きく異なるから。
- ・どの外国語を学ぶ場合でも文法が難しいと思うから

## ■ 読解

## &lt;内容抜粋&gt;

- ・文字が読めないから。

## ■ 会話

## &lt;内容抜粋&gt;

- ・練習が足りないから。
- ・語彙が足りないから。
- ・教科書の語彙と、実際の場面で使う語彙が少し違うから。

## ■ 聴解

## &lt;内容抜粋&gt;

- ・日本人が話すのが速いから。
- ・1つの単語が長く、聞き取りづらいから。

## ■ 発音

## &lt;内容抜粋&gt;

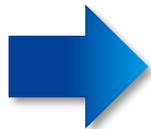
- ・似たような発音の言葉があるから。

回答者の基本情報

日本語学習への意識

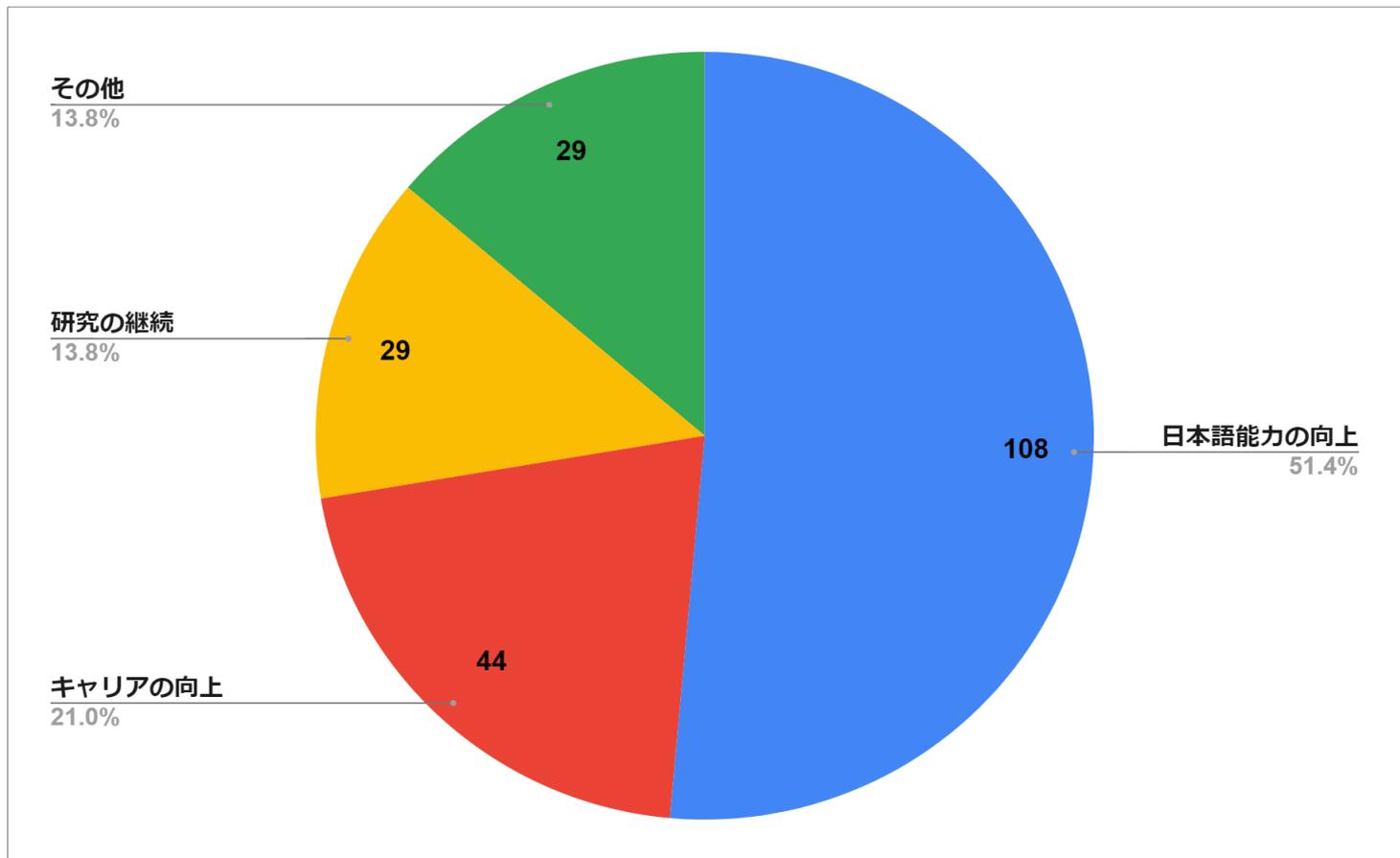
日本語の学習方法

日本語学習や日本での生活で困難なこと



今後の目標など

日本語能力の向上に関するものが約半数。



- 現状で満足：約22名
- 改善点・要望など
  - ・より日本語を理解するため、教材はもっと文法にフォーカスしてほしい  
例えば、文をどのように構成するかなど
  - ・買い物・役所・病院でコミュニケーションが取れるよう、日常会話のクラスの実施があるとよい
  - ・日本への留学を希望する学生は事前に最低1年は日本語を勉強したほうが、日本での滞在がより楽になると思う
  - ・日常生活で困らないよう、JDS生には来日して最初の数カ月は日本語基礎クラスの提供があるとよい
  - ・もっと無料の学習プログラムを案内してほしい
  - ・日本政府や機関が、母国に日本語学習クラスや教材を提供してくれたら嬉しい
  - ・初級の日本語を学んでいるが、言葉を覚えたり、使い方を理解するのが難しい  
学び方を教えてくれると嬉しい
  - ・自分のペースで、また双方向形式で学べるアプリ（またはコース）が好きです
  - ・大学で初級日本語を学ぶ機会はあるが、より上級に進んでいけるようなクラスがあればよい
  - ・日本語能力を向上できるアプリをもっと知りたい
  - ・使いやすく、簡単な日本語学習アプリを知りたい
  - ・日本語のクラスをいくつか紹介してほしい

## ■ターゲット像

- ・学習に費用をかけない学習者が大半ではあるが、中級以上のレベルを目指す学習者は、費用をかける傾向がやや高く、ターゲット設定の1つのヒントになるのではないかとと思われる

## ■学習ツールの内容検討など

- ・アンケート対象者の日本語レベルは初級が多くを占めると思われるが、学習で最も困難に感じているのは「漢字」であった。理由を自由記述で書いていただいたが、数の多さや複雑さから漠然と難しいと感じている印象がある  
どのように勉強を進めていけばよいかかわからないという意見もあり、学習のロードマップや漢字の学び方のコツ、学習進捗もわかるような学習ツールになると良いと感じた
- ・電子辞書が得意な「言葉を調べる」という分野については、今回のアンケート対象者の中では、Google翻訳やインターネットでの検索で済ませる人が多かった。  
アプリの中でも有償版を使用している人は、少数ではあったが、学習系アプリに存在しており、「調べる」だけでなく「学習」機能があると価値を感じていただきやすいのではないかと感じた

# Boost Your Curiosity

カシオは「学び」の支援を行い、生徒の学びへの「好奇心」を高めます

学びの原点は好奇心であり、好奇心によって興味が生まれます  
これらは人生を豊かにする大切な要素であると、私達は信じています

